

# 清流



平成31年 1月18日 文責 石丸 慎也

## あたたかい思いに支えられて ～ 「有明抄」から

昨年末の佐賀新聞「有明抄」に，“山田一郎さん”のことにふれた記述を見つけました。以下、その記事（抜粋）をそのままご紹介します。

今年も残りわずか。師走は吹く風も冷たいが、いやいや心温まる奇特定の善意の話題も多い月である。恐らく多くの県民の記憶にある「一灯さん」や「山田一郎さん」。ともに匿名だが、「一灯さん」は1960（昭和35）年12月から25年間にわたって毎年2回、小城市の芦刈小学校に浄財を送り続けた人。「山田一郎さん」も同じく20年近く佐賀市の川上小学校に総額200万円分の図書券を贈ってくれた人。2人の善意は生かされて、芦刈小学校には「一灯文庫」。川上小学校には地域の人でも利用できる「絵本だけの図書室」が。（「そして先日…」と続く）『有明抄』

このように子ども達は、周囲で見守り励ましてくださる多くの大人のあたたかい思いに支えられて成長しています。現在では大久保にお住まいの堤 和之様から毎年図書館へ本を寄贈していただいております。本当にありがたいことです。学校では、今週15日から「堤 和之さんありがとうフェア」も始まりました。

## 地震避難訓練に取り組みました！



運動場に避難する子ども達

今年初め、また熊本県で大きな地震が発生しました。こうした自然災害はいつやってくるかわからないというところに怖さを感じます。

さて、佐賀にもいつやってくるのか分からない地震へ向け、本校でも避難訓練を実施しました。訓練は昼休み。子ども達がいつものように校内のあちらこちらで楽しい時間を過ごしている時間帯です。子ども達は放送に耳を傾け、指示

を聞き取り、まず身の安全を確保します。その後指定された運動場中央に避難し、学級ごとに整列。人員点検を行いました。指導に当たった吉富教諭からは、「地震が発生したらどこに集まるかを事前に家族で話し合い、約束しておくことが大切です」という話がありました。ぜひご家庭でも話題にしてください。

## いつもありがとうございます！ ～ 2つの感謝の手紙

川上小学校の学習活動や生活は、地域の方々の温かい支えのもとに成り立っています。そして子ども達は、地域の方々の思いをしっかりと受け止めています。そのような地域の方々に対する子ども達の感謝の気持ちを表した手紙を、学校内に掲示しています。この場を借りて学習活動と生活それぞれにおける子ども達の感謝の言葉を紹介します。



### ～ 交通指導員の皆さんへ（5年生） ～

○日々、学校への通学のお世話をしてくださってありがとうございました。交通安全教室で教えてくれて、私は交通事故にあっていないのも指導員さんのおかげです。

○毎日の通学では見えないところで頑張っているすごいと思いました。毎年、交通安全教室で指導をしてくれてありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

○とってもみんなお世話になっているので、感謝でいっぱいです。ぼくはあこがれました。そして今度会ったときに皆さんと握手したいです。

○交通指導員さん、毎年ぼくたちに交通安全のことをたくさん教えてくれてありがとうございます。そのおかげでみんな交通事故に遭いませんでした。



### ～ 金丸さんへ（4年生） ～

○金丸さんは田植えから精米まで手伝ってくださってありがとうございました。ぼくが一番楽しかったのは稲刈りです。わけは切るときにさくっという音がたまらなかったからです。

○私たち4年生の田植えから今までお世話してくれてありがとうございました。金丸さんと一緒に田植えやいろいろやった時に食

べ物の大切さ、いろいろな人の工夫がつまってお米ができていますと知りました。だからこれからは食べ物を残さず大切にできちんと「いただきます」「ごちそうさま」と言って食べようと思いました。



校長室から

校長室のブラインドの向こうに、教師が子ども達になわとびを教えている光景が見える。教師が回す縄は決して上手に円の軌道をえがいているとは言えない。子どもの表情をのぞいてみた。笑顔だ。楽しそうな表情をしている。こうした何気ない光景に、尊いものを感じる。